キャストポール（車止め）の仕様

標　準　カ　ラ　ー

ブラウン　ダークブラウン　ブラウンブラックメタリック　オリーブ

鋼管部分標準カラー（SGP,STK）

グレー（ハンマートーン）

※印刷のため製品と多少の色違いがありますので、ご注文の際は当社色見本にてご確認願います。

塗　装　仕　様

※標準塗装仕様以外でも製作いたしますのでご指示願います。

鋳鉄部分	防錆下地にウレタン２回塗り（ウレタン塗料Vトップ FT大日本塗料）	鋼管部分	＃４００バフ研磨（SUS）亜鉛めっき下地にエナメル焼付（SGP,STK）

オ　プ　シ　ョ　ン　部　品

クサリ連結フック

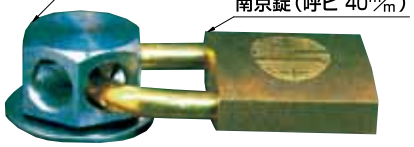
シャックル（呼び 6，8，9，13）

クサリ（φ6，φ8，φ9，φ13）

レフレクター

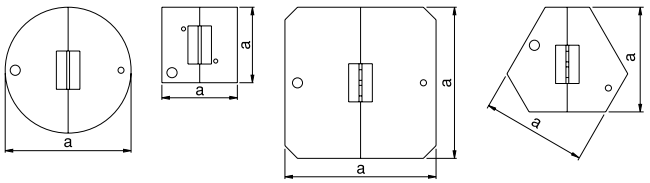
六角特殊ボルト（M16×35）〈PAT.〉

南京錠（呼び 40㎜）



可動用穴カバー（可動式タイプで、本体を引き抜いた時の穴部をふさぐために用います。埋込枠の中に収納できます。）

A型　B型　C型　E型



●材 質…SS400
●仕 様…亜鉛めっき

製品記号	a	適　用　機　種
A	250	*CP10-70J，CP11-70J，CP14-70J*
	320	*CP2-70K，CP3-70K，CP4-30J，CP4-70J，CP20-80J*
	345	*CP8-90J*
B	150	*CP50-85J（JGP），CP53-85J（JGP），CP54-85J（JGP）*
	176	*CP51-85J（JGP）*
C	300	*CP1-70J*
	190×210	*CP12-70J，CP19-70J*
E	208	*CP5-70J*

照明器具に関する安全上のご注意

照明器具はさまざまな用途・多岐にわたる使用目的に応じて数多くの機種が商品化されています。これらの商品は、法律・規格を遵守し品質の確保につとめておりますが、適正に施工・ご使用されることでその機能・安全性がいかされます。照明器具を安全にご使用いただくために、器具安全上のご注意と取扱説明書を併せてご活用ください。

■照明器具の施工について

- 器具に使用する光源（ランプ）は、器具ごとに定められています。器具に表示されたランプを確かめてお選びください。適合しないランプを使用すると、火災・やけどの原因となります。
- 蛍光灯器具には、電源周波長50ヘルツ（Hz）用－60ヘルツ（Hz）用に区分されているものがあります。使用地域の電源周波数にあった器具をお選びください。適合しない器具を使用すると火災の原因となります。
- 器具に表示された定格電圧でご使用ください。定格電圧を超えて使用すると火災の原因となります。
- 電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- 電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。また電源配線はランプの表面にふれないように施工してください。火災の原因となります。
- 器具に被照射面との距離の指定のあるものは、それより近くでは使用しないでください。火災・やけど・変色の原因となります。
- 工事が完了するまでは電源を切っておいてください。またランプを取り付けるときにも電源を切ってください。感電の恐れがあります。
- アース工事は電気設備の技術基準にしたがって確実に行ってください。アースが不完全な場合は感電の原因となることがあります。

■照明器具のご使用について

- ランプの交換やお手入れの際には電源を切ってください。電源を切らずに行うと感電の恐れがあります。
- ランプの交換時には器具に表示されているランプをご使用ください。適合しないランプを使用すると、火災・やけどの原因となります。
- 不安定な取付けや不安定な場所でのご使用はお止めください。
- 点灯中および消灯直後のランプにはさわらないでください。ランプは高温になっていますのでやけどの原因となります。
- 器具および部品の改造はしないでください。感電・火災の原因となります。
- 器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。感電や火災の原因となることがあります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また電源コードに重い物をのせたり、電熱具に近づけないでください。コードが破損し、感電・火災の原因となります。
- 器具の保守・お手入れ等で器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を与えないでください。器具落下の原因となります。
- 器具を明るく、安全にお使いいただくために定期的に（6ヶ月程度）保守・点検をしてください。

お願い

- ハロゲンランプの表面に素手でさわらないでください。短寿命の原因になります。ランプ表面の汚れには、アルコールなどを浸した布で拭き取り、乾かしてからご使用ください。
- 濡れた手で器具にさわらないでください。